

2015年9月9日

学生各位

学際科学科 学務委員長  
佐藤守俊

## 「外国語論文講読Ⅰ・Ⅲ」の履修申込・登録について

別紙『講義内容一覧』にある科目の履修を希望する学生は、以下の要領で履修申込・登録を行ってください。

開講曜限・教室が一覧に記載されていないものについては、申込締切後、掲示または担当教員よりメールで連絡します。

### 記

#### 1) 履修申込

申込期間：9月9日（水）～9月17日（木）16:00

申込方法：教務事務室（15号館107号室）のカウンターにある申込用紙に学籍番号・氏名・所属・連絡先等を記入する

#### 2) 開講曜限の決定

申込期間終了後、担当教員と履修申込者で相談して開講曜限を決定する  
履修申込をした学生に対し、掲示または担当教員からメールで連絡する

#### 3) 履修登録

登録期間：学部2年生 … 9月25日（金）～28日（月）

学部3・4年生 … 9月25日（金）～30日（水）

登録方法：通常の科目登録と同様 UTask-web または UT-mate で登録すること

登録上の注意：学部2年生（内定生）は以下の科目番号・科目名で登録すること

科目番号 08D12263

科目名 総合情報学実習Ⅰ（3）

#### ※注意

UT-mate の曜日（時限）の欄は「集中他（集中）」と表示されているが、実際には毎週実施する

# 講義内容一覧

2015年度A semester 学際科学科・広域システム科学系

担当教員	科目番号・科目名	講義内容	曜限 教室
森畑 明昌	新加 2A 08D12263 総合情報学実習 I (3)	<授業の目標・概要> 計算機科学・プログラミング言語に関する英語の論文や参考書を輪読する。輪読の対象は初めに話し合っておくが、例としては以下のようなもの考えている。	
	現加 2A 08D12315 外国語論文講読 I	- E.W. Dijkstra: A Discipline of Programming	
	現加 3A 08D12335 外国語論文講読 III	- 計算機科学に関する古典論文。たとえば A. Turing: On computable numbers, with an application to the Entscheidungsproblem	
	修士 31M282-0100A 基礎システム学輪講 II	- プログラミング言語に関する最新の研究成果。たとえば最新のPLDI(国際会議)の論文から何本か	
	博士 31D282-0100A 基礎システム学輪講 II	<授業計画> 具体的な曜限等は初めに授業参加者と話し合っておく。	
中村 政隆	新加 2A 08D12263 総合情報学実習 I (3)	<授業の目標・概要> 離散数学もしくは計算機科学の英語文献を読むことによって、当該分野の基礎知識を身につけるとともに英語の読解力を身につける。	
	現加 2A 08D12314 外国語論文講読 I	<授業の方法> 適切なテキストを選んで輪読する。	
	現加 3A 08D12334 外国語論文講読 III		
	修士 31M282-0120A 基礎システム学輪講 IV		
	博士 31D282-0120A 基礎システム学輪講 IV		
金井 崇	学部 — —	<授業の目標・概要> CGや形状モデリング、アニメーションに関連した文献や書籍の輪読を行う予定である。なお、今学期は以下の書籍のうちいずれか一つを予定しているが、履修者との話し合いで変更する可能性もある。	
	修士 31M282-0140A 基礎システム学輪講 VI	Stephen Boyd and Lieven Vandenbergh, "Convex Optimization", Cambridge University Press, 2004.	
	博士 31D282-0140A 基礎システム学輪講 VI	Simon Foucart and Holger Rauhut, "A Mathematical Introduction to Compressive Sensing", Birkhauser, 2013. Daniel Cohen-Or, Chen Greif, Tao Ju, Niloy J. Mitra, Ariel Shamir, Olga Sorkine-Hornung, Hao (Richard) Zhang, "A Sampler of Useful Computational Tools for Applied Geometry, Computer Graphics, and Image Processing", CRC Press, 2015.	
山口 和紀	新加 2A 08D12263 総合情報学実習 I (3)	<授業の目標・概要> 英語の文献を読みこなす能力を身につけるとともに、文献の内容も理解する。	
	現加 2A 08D12312 外国語論文講読 I	<教科書>	
	現加 3A 08D12332 外国語論文講読 III	Networks, Crowds, and Markets: Reasoning about a Highly Connected World(ドラフト版はウェブで公開されている。)を読む予定である。	
	修士 31M282-0300A 情報システム学輪講 II	<関連ホームページ>	
	博士 31D282-0300A 情報システム学輪講 II	<a href="http://lecture.ecc.u-tokyo.ac.jp/~yamaguch/">http://lecture.ecc.u-tokyo.ac.jp/~yamaguch/</a>	
開 一夫	新加 2A 08D12263 総合情報学実習 I (3)	<授業の目標・概要> 認知科学およびその周辺分野(神経科学・発達科学・人工知能)の先端研究に関する原著論文の講読	
	現加 2A 08D12311 外国語論文講読 I	<授業計画>	
	現加 3A 08D12331 外国語論文講読 III	週に1回、担当者(3名)が、割り当てられた論文についてレポートする。	
	修士 31M282-0320A 情報システム学輪講 IV		
	博士 31D282-0320A 情報システム学輪講 IV		
柴山 悦哉	学部 — —	<授業の目標・概要> 爆発的に増大しているデジタルデータから、有益な情報を抽出するために、統計的な手法や機械学習に基づく手法などが提案されている。この授業では、これらの基礎となる概念を学ぶ。	
	修士 31M282-0340A 情報システム学輪講 VI	<授業の方法>	
	博士 31D282-0340A 情報システム学輪講 VI	David Barber: Bayesian Reasoning and Machine Learning の一部の章の輪読を予定しているが、受講者と相談の上、他の書籍または論文に変更する可能性がある。	
小宮 剛 石川 晃	学部 — —	<授業の目標・概要> 生命進化や表層環境進化に関連する地球進化研究の理解	16号館 802
	修士 31M282-0560A 自然体系学輪講 VIII	<授業計画> 生命進化や表層環境進化に関する主要な論文や最近の論文などを輪読。	
	博士 31D282-0560A 自然体系学輪講 VIII	各回、担当者が担当論文の紹介をし、全員で議論をする。 冬学期は12週、異なる論文を輪読する。担当する論文は第1回の授業日に決める。	
山口 泰	新加 2A 08D12263 総合情報学実習 I (3)	<授業の目標・概要> 人間の視覚情報処理や計算機による画像・形状処理に関する英文の教科書ないし参考書を輪読する。	
	現加 2A 08D12313 外国語論文講読 I	<授業の方法> 授業参加者から担当を決めて教科書ないし参考書を輪読する。	
	現加 3A 08D12333 外国語論文講読 III	<教科書> 講読対象の文献については、初めに参加者の意見を聞きながら決定する。 たとえば、以下の書籍などを考えている。	
	修士 31M282-0770A 複合系計画学輪講 IV	Martin J. Tovee: An Introduction to the Visual System, 2nd ed., Cambridge University Press, 2008 (ISBN 9780521709644)	
	博士 31D282-0770A 複合系計画学輪講 IV	Daniel Malacara: Color Vision and Colorimetry - Theory and Applications, 2nd ed., SPIE Press, 2011 (ISBN 9780819483973) William B. Thompson et al.: Visual Perception from a Computer Graphics Perspective, CRC Press, 2011 (ISBN 9781568814650) Hursrev Taha Sencar, Nasir Memon ed.: Digital Image Forensics - There is More to a Picture than Meets the Eye, Springer, 2013 (ISBN 9781461407560)	
福永 Alex	新加 2A 08D12263 総合情報学実習 I (3)	<授業の目標・概要> 人工知能分野に関する文献を輪読する。	
	現加 2A 08D12316 外国語論文講読 I	プログラミングの知識(「プログラミング演習II」程度)人工知能の入門科目(例えば「情報数理III」あるいは他学部・他大学のAI入門科目)、及びアルゴリズム論・データ構造の科目(例えば「情報数理科学II」)を前提とする。	
	現加 3A 08D12336 外国語論文講読 III		
	修士 31M282-0790A 複合系計画学輪講 VI		
	博士 31D282-0790A 複合系計画学輪講 VI		
河村 彰星	新加 2A 08D12263 総合情報学実習 I (3)	<授業の目標・概要> 情報学の理論分野(アルゴリズム・計算理論・応用数理)の文献講読。理論分野といっても広いので、具体的な内容は各参加者の希望に応じて決める。	
	現加 2A 08D12317 外国語論文講読 I	特に希望がないという人には、今学期は計算幾何・組合せ幾何(つまり上記分野の中でも、図形を分析対象とする文献)を推奨することとする。例えば書籍では	
	現加 3A 08D12337 外国語論文講読 III	・J. Matoušek, Lectures on Discrete Geometry, Springer, 2002 ・M. de Berg, O. Cheong, M. van Kreveld, and Mark Overmars. Computational Geometry, 3rd ed., Springer, 2008	
	修士 31M282-0900A 複合系計画学輪講 VIII	論文誌でいえば ・Discrete & Computational Geometry, Springer	
	博士 31D282-0900A 複合系計画学輪講 VIII	・Computational Geometry: Theory and Applications, Elsevier など。	
金子 知適	新加 2A 08D12263 総合情報学実習 I (3)	<授業の目標・概要> 英語の文献を読みこなす能力を身につけるとともに、文献の内容も理解する。	
	現加 2A 08D12318 外国語論文講読 I	どのテキストにするかは初めに相談する。以下は例である: - Algorithm design (Keleinberg and Tardos) - The art of multiprocessor programming (Herlihy and Shavit)	
	現加 3A 08D12338 外国語論文講読 III	<授業計画> 初めに割り当てを行い、2回目以降は輪講形式で進める。	

※シラバス詳細は学務システム(UT-mate・UTask-web)で確認すること。

※開講曜限・教室が未定の科目については掲示または(申込締切後)担当教員よりメールで連絡します。

2015.9.9